有明海・八代海の干潟・浅海域の生物との実体験を通して学ぶ教育拠点事業

ー化石から現生生物までを実体験で学ぶ教育拠点の形成ー

国立大学法人 熊本大学 Kumamoto University

◎：施設名「熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター・合津マリンステーション」

背景

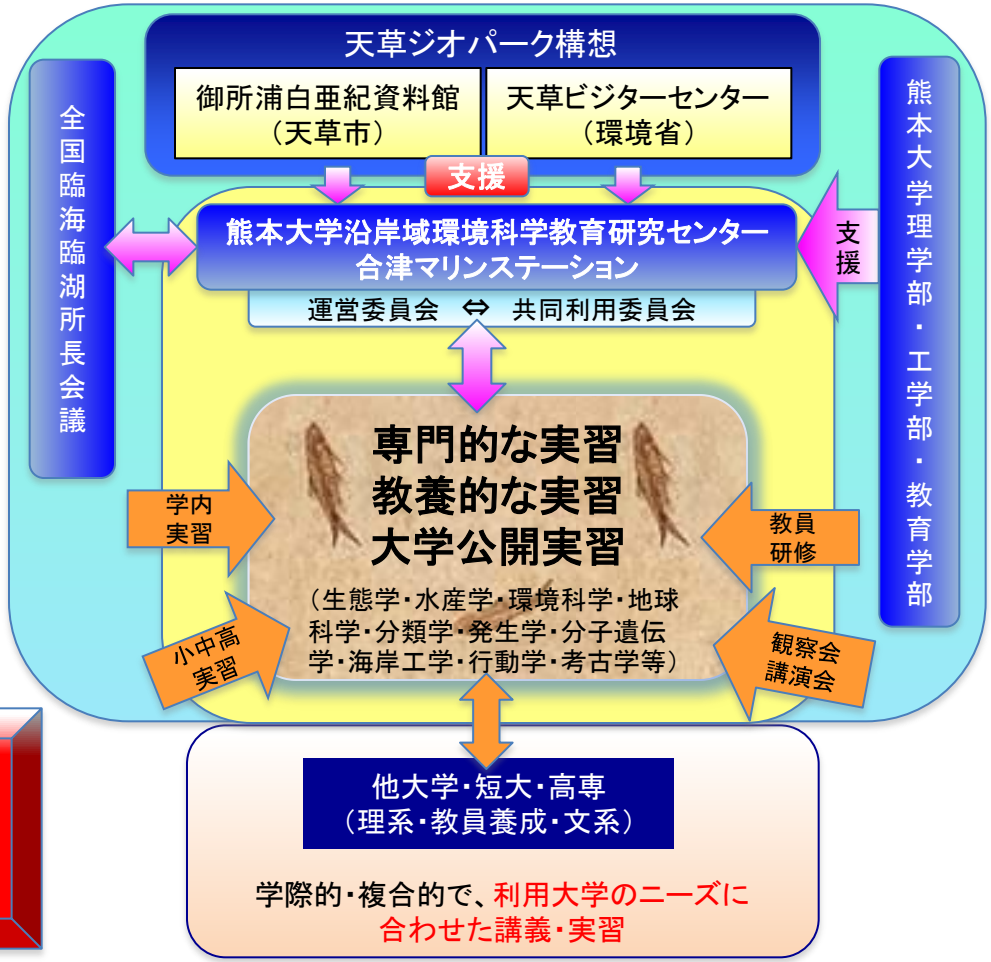
今般、海洋についての知識と理解、関心を深める教育推進と、海洋に関する課題に的確に対応できる人材の育成が、社会的にも臨海実験施設に強く求められている。

概要

日本国内では、有明海・八代海しか見られないムツゴロウなどの大陸遺存種や多種多様な露頭や化石を多産し、天草ジオパーク構想のジオサイト候補地ともなっている本施設周辺において、資源・利便性を最大限に活用できる教育プログラムの開発、生物学、地球科学をはじめとする学際的な海洋教育の開発と実践を行う。

期待される効果

- 科学的な体験を通した海洋の理解と関心を深め、理系だけでなく、教育系や文系の学生にも対応できる学際的・複合的なカリキュラムが提供できる。
- 地球と生物のダイナミックな歴史に関する講義・実習は、学ぶ者に感動と興味を喚起。
- 数万個体のナメクジウオを飼育するなど、実験動物の開発にも意欲的に取り組んでおり、実習にも活用できる。
- 生態学・水産学・環境科学を中心とした講義・実習に加え、地球科学分野の講義・実習を取り入れ、化石から現生までの生物を対象とした複合的・学際的な講義・実習の開発と実践を行う。



教育拠点として、複合的・学際的な教育カリキュラムに実体験を融合させた能動的な学修教育の実施により、海洋教育の関心を深め、さらには予測困難な時代を生きる若者へ質の高い潜在的能力を身につけさせる。